



ShikaTown

1

2020
(令和2年)
No.173



「十二神巻・子神」前田 良雄（版画）

志賀町文化ホール企画展

十二支版画展

前田良雄作品展

1月27日(月)まで

INDEX

2020年 年頭あいさつ	2～3
緑白綬有功章・松嶋重史朗さん	4
レスリング日本代表・岡田夢生さん	5
まちかどNews	14～15
情報パーク	16～21

迎春

東京2020オリンピック・パラリンピック開催の年にあたり



志賀町長 小泉 勝

謹んで新年のご挨拶を申し上げます
町民の皆さまには、輝かしい新春を
お迎えのことと、心からお慶び申し上げます

年頭にあたって

新年を迎え、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催の年となりました。

オリンピックは、7月24日から8月9日までの17日間の日程で開催され、史上最多の33競技、339種目で熱い戦いが繰り広げられます。また、パラリンピックは、その後に行われることとなります。

私は、この世紀のスポーツの祭典をぜひ会場で見たいと思っておりますが、いまだに観戦チケットが入手できておらず、春の抽選に再度チャレンジする予定です。

日本での開催の経済効果については、競技会場の整備をはじめ、警備や輸送を含む大会運営費、大会観戦者等の支出などの直接的効果に加え、競技場や交通インフラのほか、訪日観光客数の増加、スポーツ人口やイベントの拡大などのレガシー効果も含まれると、30兆円を超えると試算されており、今後の日本経済のさらなる成長が期待されます。本町でも、昨年7月に、男子レスリング競技のアゼルバイジャン代表チームと日本代表チームの合同合宿を受け入れし



アゼルバイジャン代表チームと児童との交流会

たところであり、今後も、オリンピック・パラリンピックの開催効果を最大限に取り込むため、交流人口の拡大や賑わいの創出、インバウンド対策など、さまざまな事業を実施していきます。

企業誘致の推進

能登中核工業団地においては、昨年8月に、サーバー製造やデータセンター事業を行うIT関連企業の株式会社ハイレゾが操業を開始したほか、11月には、カレンダー製造会社の株式会社TSGが、現在の工場隣接地に工場を増設する方針を打ち出し、本年10月から増設部分の操業を開始する予定となっております。

また、現在、町では、平成30年度に取得した土地を新たな工場用地として整備しているところでもあり、今後も積極的に企業誘致を推進し、1社でも多くの誘致につなげ、雇用の創出と地域経済の活性化を図っていきます。

教育・子育て環境の充実とスポーツの振興

教育環境の整備については、町内の小・中学校4校のハード面での整備を終え、平成27年度から3カ年をかけ、電子黒板や中学校の生徒用タブレット端末を順次整備してきました。今後は、国の補助メニューを活用し、小学校の児童用タブレット端末を整備し、さらなるICT環境の充実を図っていきます。

また、子育て環境の充実については、子どものインフルエンザ発症と重症化を予防するとともに、子育て世代の負担軽減を図るために実施してきたインフルエンザ予防接種に要する費用の助成対象を、現行の満1歳から生後6カ月からの乳児に拡充し、実施していきます。

さらに、スポーツの振興については、現在、大規模改修工事を進めている町陸上競技場のトラック改修を早期に完了させ、多くの町民に有効に利用していただく環境を整備するとともに、昨年に続き、男子レスリング競技のアゼルバイジャン代表チームの事前合宿を受け入れるなどし、町民のスポーツに対する意識の高揚とスポーツを通じた交流人口の拡大につなげていきます。



改修工事が進められる町陸上競技場

町立富来病院の 経営改革の推進

昨年9月末、厚生労働省は、全国の公立・公的病院のうち、診療実績が乏しいなどと判断し、再編・統合を促す必要性のある病院として、424の病院名を公表。石川県では、町立富来病院を含む7病院が対象とされました。

富来病院では、一昨年、急性期一般病床の一部を地域包括ケア病床へ機能転換し、昨年からは、医療と介護サービスを一体的に提供する介護医療院を開設するなど、改革に取り組んできたところであり、その結果、病床利用率の改善などに大きくつながり、今年度の経常収支は、開業以来、初めて黒字化となる見込みです。

このように、改革の成果が表れてきている中で、今回の公表には、患者の皆さまをはじめ、町民に大きな不安を与えることとなり、大変遺憾に思っています。町としては、今後も地域の実情に見合った病院改革を積極的に推進し、町民に良質な医療、療養環境を提供していく方針であり、再編・統合については考えていませんので、安心していただきたいと思います。

若者の移住定住の促進

若い世代の移住定住を促進するため、整備を進めてきた住宅地「みらいとうぶ」については、平成30年度に全ての造成工事を終え、本町の充実した奨励金制度や魅力ある教育・子育て環境を幅広くPRしながら、順次分譲してきたところです。

現在、全79区画のうち、73区画が分譲済となり、昨年11月末には、町外から移住された23世帯・50人を含め、62世帯・205人の方が居住する新しい住宅地

が形成され、移住定住につながっています。

町としては、今後も積極的に売り込みをし、残る6区画の早期の完売を目指していきます。

また、富来地域で整備を進めてきた「ますほの丘住宅」については、一昨年に単身者向け住宅1棟8戸を整備し、さらに、昨年9月末にファミリー向け住宅1棟12戸の整備を終え、現在、単身者向け住宅には5世帯、ファミリー向け住宅には4世帯が入居されています。

今後、広く入居者を募集し、富来地域への若者の移住定住を促進していきます。



新しい住宅地が形成された「みらいとうぶ」



整備が完了した「ますほの丘住宅」

防災対策の充実と強化

近年、全国各地で大規模な自然災害が頻発する中、昨年のタウンミーティングは、「台風や集中豪雨時における避難行動等について」をテーマとして、区長や公民館長をはじめ、各種団体の長、自主防災組織や防災士の代表者の皆さまを対象に開催しました。

町では、台風や記録的な豪雨時において危険な状況が迫っている場合には、まず、自主避難所として、西山台の志賀消防署横の地域交流センターと富来活性化センターの2カ所を開設することや、危険な状況が広範囲にわたる場合などには、自家発電設備を完備した公共施設を順

次避難所として開設することを説明しました。

また、区長や公民館長に対し、自らが管理する区の集会所や土砂災害警戒区域外の公民館を、台風や豪雨などが過ぎ去るまでの間、地区避難所として開設し、自らの地域で運営していただくことについてお願いしています。

このほか、大規模な災害ともなれば、町や消防などの公的支援が行き届かないことが想定され、自分の身は自分で守る「自助」と、隣近所、地域で互いに助け合う「共助」の意識をもつて行動することの重要性などについても説明しています。

町としては、今回のタウンミーティングを通じて、台風や豪雨時などの住民や地域の避難行動などについて、それぞれが考える第一歩になったものと思っており、今後も、こうした説明会などを積み重ね、自助・共助・公助の連携により、防災・減災の効果が発揮されることを広く周知し、町民の防災意識の向上につなげていきます。

結びにあたり、町民の皆さまのご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとします。

令和2年 元旦

松嶋 重史朗さん

(北吉田)

11月21日、東京赤坂にある石垣記念ホールで、農事功績者として、秋篠宮皇嗣殿下より、緑白綬有功章が授与されました。

翌日、町長に受章を報告、「これが終点ではない。ますます研鑽を重ねていきたい」と話しました。



緑白綬有功章 とは

農事改良の奨励または実行上功績顕著な人、農業上の有益な発見または研究を行い功績顕著な人たちに贈られている。明治27年(1894)以来、令和元年(2019)で103回を数えている。

(参考：公益社団法人 大日本農会ホームページ)



【受章事由】

地域で初めて農業生産法人を設立し、地域の担い手として農地集積に取り組み、水稻の複合経営の品目として農閑期に栽培できる白ねぎを導入し、経営の安定化を実現した。

また、志賀町農業委員や土地改良区管理委員のほか、はくい農業振興協議会会長などを歴任し、能登地域の農業振興に携わり、県農業振興協議会会長として、組織改革に取り組むなど、石川県の農業発展に大きく貢献した。

松嶋さんの主な取り組み

[昭和52年～平成7年]

昭和52年、兼業農家として就農。

平成7年、北吉田地区にて、地区農家6人とともに、羽咋郡市で初めとなる農業生産法人、有限会社ソイルを設立し、「水稻プラス作業受託」で営農を開始。

[平成8年～平成10年]

平成9年に水稻育苗ハウス6棟を建設し、翌年にはJ A志賀の水稻硬化苗の受託生産を開始した。また、水稻育苗ハウスの有効利用と冬期の所得確保を図るため、新たに地域特産物として作付けが始まった白ねぎの栽培を開始。

平成10年には、従来の土寄せ栽培に代わり、地域に先駆けて白ねぎ栽培で光を通さないフィルムを使用した軟白化技術を導入し、土寄せ栽培よりも軟白部がやわらかいと市場からの評価を得た。

[平成11年～]

平成16年、県の中核農家連絡協議会の会長に就任し、翌年の協議会発足30周年記念事業を成功裏に収め、これを契機に組織改革に奔走した。

平成17年に、エコ農業者に認定され、減農薬、減化学肥料栽培に取り組んだ。

平成19年、新たな農業者組織「いしかわ農業振興協議会」の設立を成し遂げた。

平成21年、地元ロータリークラブと連携して、環境に配慮した地元産米をPRするため、地域の小学生と保護者100人を対象にホテル観察会を開催、地域の米消費拡大や消費者の農業理解に貢献した。



岡田 夢生^{ゆう}さん (志賀中学校2年)

日本代表に！！

今月、スウェーデンで行われる「クリッパン女子国際大会」での日本代表選手に岡田 夢生さんが選ばれました。

今年出場した全国大会の成績が総合的に評価されたものです。

12月4日(水)、志賀町ジュニアレスリング教室の岡田 夢生さんと山下 勝監督が、11月23日(土)～24日(日)に行われた、東京都知事杯第10回全国中学選抜レスリング選手権での優勝報告のため、間嶋教育長を訪れました。

山下監督は「全試合フォール勝ちの完璧な優勝だった」と試合の様子を話し、続けて1月に行われる国際大会の日本代表選手に選ばれた事も報告しました。



試合に向け練習中の岡田さん

教育長は「世界でどれだけやれるか学ぶ良い機会、世界を肌で感じてきてほしい」と激励しました。

初めての国際大会での目標を聞くと「優勝します！」と頼もしい言葉が返ってきました。



左から山下監督、岡田さん、間嶋教育長

クリッパン女子国際大会

スウェーデンのクリッパンで行われるレスリングの女子国際大会で、約20カ国が参加。2020年1月17日～19日に開催。岡田さんは、カデット(15～17歳)の40kg級に出場予定。

岡田 夢生さんの 2019 年 全国大会の成績

4月	JOC 杯第33回ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会	東京都	準優勝
6月	沼尻直杯全国中学生選手権	茨城県	3位
10月	第14回全日本女子オープンレスリング選手権	静岡県	優勝
11月	東京都知事杯第10回全国中学選抜レスリング選手権	東京都	優勝

※開催月、大会名、開催場所、成績の順